

区民と区長のダイアログカフェ  
学生と区長が語る  
住み続けたいまち「ぶんきょう」を  
創っていくために

日 時：令和元年8月29日（木） 午後6時開始

会 場：金魚坂

※ご意見・ご質問のうち、個人(法人)の特定につながる情報は〇〇とさせていただきます。

文京区企画政策部広報課

### 【広報課長】

皆さん、こんばんは。ただいまから「区長と区民（学生）のダイアログカフェ～区長と学生が語る“住み続けたい街「ぶんきょう」を創っていくために”～」を始めさせていただきます。

お忙しい中、本日はお集まりいただきましてありがとうございます。はじめに、成澤区長よりご挨拶申し上げます。

### 【区長】

こんばんは。今日は、区内の学生の皆さんたちとの対話ということで、住み続けたい街を創っていくために、どんなことをすればよいか、考えようという企画です。区民の皆さんたちとお話をする機会をつくるのに、かつては区役所の会議室みたいなところに来てもらって、参加したい人は自由に来てくださいという会をやっていたんですけども、そういう会って大体、役所に何か物申したいとなつて、自分の言いたいことだけばあつと行って、人と会話が成立せず、一方的に物を言って終わりになるという会で、余り生産性を感じてなかったんですね。区役所に来てもらうよりは、地域のいろんなお店とか、こういうカフェみたいなところに出ていってお話を聞いたほうがいいんじゃないかというので、ノブさんをお願いをして開催したのがこの会です。区民の皆さんたちとの間ではそういう会を年に1回やっていて、それはそれでいい会になっているんですが、区民の人だけじゃなくて、大学生の皆さんのように、この土地で学んでいる人たちからもいろいろなアイデアをいただけたらという趣旨で、本日この回を開催しております。よろしく申し上げます。

### 【広報課長】

それでは始める前に留意事項が幾つかありますので、ご説明させていただきます。まず、本日の対話の内容ですけれども、要点記録ということで区民の皆様へ情報提供いたしますので、録音をとらせてもらいます。ただ、録音はとりますけれども、皆さん一人一人のお名前は出ませんので、リラックスして自由に発言していただければと思います。

また、広報・記録用として対話の様子を撮らせていただき、フェイスブックや報道機関への提供などに使用させていただきますので、広報写真としてお顔が出ることに支障がある方はお申し出いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

それでは、これから対話に入っていただくんですけども、その前に、本日ファシリテーターをお願いしているノブさんをご紹介します。

ノブさんは大学卒業後、製薬メーカーで13年間、勤務を経まして、平成20年から文京区の

根津でミノリカフェという喫茶店を経営されておりました。今はその経営はされていないんですけれども、そのカフェには近隣の方々がどんどん集まるようになって、勉強会とか対話の会が数多く開催されていました。そのような実績がご縁となりまして、平成25年度から区長と区民のダイアログカフェの企画と運営をノブさんをお願いしているというところです。現在は、これまでのいろいろ対話のノウハウを生かして、病気を持った患者さんと医療者が対話を行う「患医ねっと」という組織の代表として、全国各地で対話の場づくり、講演活動などを行われているということです。

最後に、本日この会場となりました金魚坂ですけれども、皆さんここ、来られたことある方、いらっしゃいますか。実はこの金魚坂、350年続いています。東京では珍しい金魚の卸売りの専門店ということです。そこにレストランが併設されているんですけれども、このレストランは今年で13年目ということになるそうです。本日のこのスペースは、普段、落語家の独演会ですとか、さまざまなイベントなどで活用されているということなんですけれども、今回、ノブさんがこの大学生のダイアログカフェの場所としてインターネット上で呼びかけましたところ、この会場を推薦する声が複数あったということで、ノブさんからオーナーさんのほうをお願いをして、快くお受けいただいたということで、本日開催の運びとなっております。

それでは、前置きが長くなってしまいましたけれども、これから対話のほうを始めさせていただきますので、ここからの進行はファシリテーターのノブさんにお任せいたします。よろしくをお願いします。

#### 【ファシリテーター】

こんばんは。ただいまご紹介いただきました、「ノブさん」と呼んでいただければと思います。皆さん、よろしくをお願いします。

今日のざっくりした流れ、先にお話をさせていただきますけれども、この最初の運営上のお願いとして書かせていただきましたが、この後一人一人に、事前にプランシートを出していただきました、このプランシートを自己紹介とともに説明をしてもらおうと思います。目安として、軽くでいいので1分ぐらいで言っていただいて、その中でお願いとして、みんなのプランシートを聞いた後に1つテーマを決めて、さらに話し合っていきますので、この中から1つ何か、「これがいいな」、「このキーワードいいな」というものを、どんなことでもいいので、もちろん自分のを絶対推したいんだと推していただいてもいいですけれども、出していただき、テーマを一回決めます。そして、そのテーマについて、より掘り下げます

ので、そのような流れをご理解いただきたいなと思います。お話しいただいた内容は、関係する文京区内の関係部署にはちゃんと回りますので、よろしくをお願いします。

最後に、この模造紙にみんなの意見を出していくんですけども、まとめたりするというよりは、文京区の関係する部署の皆が見たときに、「あっ、こういうアイデアがあるよね」、「こんなのもいいね」と、新たなひらめきとか気づきがあればいいかなと思いますので、決して何かまとめるとか結論を出すとかいうことは余りしません。今日のゴールという形で下に書きましたけれども、区民・区在学者目線で、今後の施策に活かせるアイデアを出すと、アイデアがどんどん出てくれば構いません。「みんなでここでやろう」というよりも、「こんなことをやりたい」、「あるといいな」、とすることを教えてください。このときに、文京区がやる、ではなくて、住民のみんながやっていくと、自分たちが、あるいはここに住んでいる皆さんでやるにはどうしたらいいか、そういう目線でアイデア、意見を出していただければと思います。ここまで、よろしいでしょうか。

今日はこの名前呼び合いますので、それも含めて自己紹介をしたいなと思います。最初、名前だけちょっと一周しましょうか。

〇〇さんです、〇〇さんです、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、ピロリン、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん。区長の、ピロリンのいわれは？

**【区長】**

ピロリンのいわれはですね、僕、下の名前は「ヒロノブ」というんですけど、以前この会のときに、「ピロリン」と僕が座るところに置いてあって、ヒロノブで「ピロリン」と勝手なあだ名をつけられたのか、ヒロに丸をつけてピロにされたのかと思ったら、僕の隣の人が「ピロリン」だったんです。それはいいな、と思って、その次から僕が使うようになったということです。

**【ファシリテーター】**

ピロリンと呼んでくださいね。

**【区長】**

今日は「区長」と呼んではいけません。

**【ファシリテーター】**

ピロリン、よろしくをお願いします。

この後、皆さんのプランを紹介していただきたいと思いますが、この順番で行ってもいいですか。じゃあ、ざっくり1分という形で、あくまでも目安ですけど、余り長過ぎるようで

したら、ちょっと私のほうから切らせていただくこともありますが、ではまず「教育チャレンジ文京区」、〇〇さんからです。お願いします。

**【参加者】**

お願いします。私が「教育チャレンジ文京区」というプランをつくった理由は、どのようなまちが住みたいかなと思ったときに、子供たちがたくさんいて笑顔なまちが、住みたいなと思えるんじゃないかと思いました。文京区は「学問の府」という区の特徴から名づけられているとおり、教育機関がたくさんあり、大学生、高校生、中学生、下のほうになると幼稚園や保育園の子たちがたくさんいる区になっていますので、「教育チャレンジ」というのをしていこうかなと考えました。

下に見ているのは例なんですけれども、私が通っている〇〇大学では、来年の東京オリンピックに先駆けて、ドイツホストタウンの文京区と連携してドイツ関連のイベントを実施しました。そこでは6,000人を超える地域の方や外国の方や、多くの子供たちが来てくれました。大学生と地域の方の交流をすることができ、私たちもすごく成長することができました。もっとこういう学生が成長できる教育チャレンジをしていくことが文京区の発展になるのかなと思っています。

以上です。

**【ファシリテーター】**

ありがとうございます。質問とかあるかもしれませんが、それはこの対話をしながら出していただければと思います。

続いて、「若者要素を盛り込もう!」、〇〇さん、お願いします。

**【参加者】**

私のイメージなんですけど、住みたいと感じる条件として、家賃が安いこととか、都会へのアクセスがよいことが挙げられると思うんですけど、それらの点で文京区は、JRが通っていないけれど都会へのアクセスは比較的によくて、治安はいいと定評はありますが、家賃などが高いという点は、変えることができない事実かと思います。これからの未来を背負う若者にとっては、価格帯の安い地域に住むことを選択しがちなので、価格を越えた魅力を世の中に伝えていくことが大切なのではないかなと思いました。例えば、若者が集まるような一風変わったイベントなどを行ったりすれば、注目されるのかなと思いました。

以上です。

**【ファシリテーター】**

ありがとうございます。

では、続いては、「学生に優しい文京区」、〇〇さん、お願いします。

**【参加者】**

文京区は、「歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役の文の京（ふみのみやこ）」というのを私が今やっている研究で知り、その名のとおり歩くだけで歴史が学べたりするスポットがたくさんあったり、このような昔からある老舗店もたくさんあります。それでも、学生にアンケートをとったら、特に私の大学だと駅からすごく近いので、あまりお店などを知らないという人たちが多かったんです。文京区から大学に通っている人はひとり暮らしをしている人のほうが多いようですが、私は〇〇県から通っていて、片道1時間かけて通うんだったらひとり暮らししたいなと思っても、やっぱり家賃が高いなという印象があります。そのことを変えることは難しいと思うので、高くても、もっといいと思えるお店なんかを紹介するような、「学生が学生に送るPR活動」みたいなことをできれば、もっと興味のわく人が増えるんじゃないかなと思いました。

**【ファシリテーター】**

ありがとうございます。

「学生と区民の交流会」、〇〇さん。

**【参加者】**

学生で文京区在住じゃない方と、区民の方で、こんな感じで話しやすい雰囲気のところ、区民の方から、文京区に住んでいてよかったこと、住んでいて悪かった点も含めて、ほかの県とか区に比べていいところなどを話し合っただけ情報共有をしてもらおう。そうすることで、学生に、将来的に文京区を移住の候補にしてもらえる可能性があるんじゃないかなと思、このプランにしました。

以上です。

**【ファシリテーター】**

ありがとうございます。

「文京区学生街計画」。〇〇さん。

**【参加者】**

タイトルについてですが、文京区は区内に19もの大学があつて、これだけ大学があるのはなかなかないかなと思うんですけど、「学生で賑わう」というようなまちの雰囲気は、余り自分の体感としては感じられなくて、僕自身も、学校行って帰る、みたいな生活で、学生同

士が、自分の大学の学生同士はもちろん、他大学の学生と触れ合えるような場所があると、「文京区っていいな、住んでみたいな」ということにつながるのかなと思って、そういうイベントなどがあつたらいいかなと思います。

以上です。

**【ファシリテーター】**

ありがとうございます。

「ぶんきょうHappiness For Youプロジェクト」。〇〇さん、お願いします。

**【参加者】**

私が考えたのは、住み続けたいまちって何だろうなと考えたときに、子供たちが健やかに生活できるまちだなと考え、Happiness For Youの、For誰、というのを考えたときに、3つを柱にして考えました。

まず、For女性。やっぱり出産、子供を産むというのは女性で、安心して出産できて、出産や育児の環境を整えることが、子供たちが健やかに生活できるということに直結できるなと思いました。例えば、病院を紹介したり、不妊治療の助成制度をやったり、育休やその後の社会復帰の支援を文京区がサポートする、というのを考えました。

次に、For親。女性、とさっき言ったんですけれども、男性も積極的に家事や育児に参加できるような風潮を文京区からつくっていきいたいなというふうに考えていて、だから、男性も家事や育児をするために、育休をとろうという考えになりました。

次に、For区民みんな、文京区に住んでいる人たちが輪になるようなまちづくりをすることで、近隣の人々との交流を強化するための政策や、地域住民とコミュニケーションのきっかけになるようなイベントを計画して、区民のみんなが、区民のみんなで子供たちを育てるとい、そういうまちができれば素敵だなと思いました。

以上です。

**【ファシリテーター】**

ありがとうございます。

では、最後、ごめんなさい、ちょっとプラン名が入っていないんですけれども、〇〇さん、お願いします。

**【参加者】**

一人、簡単な感じになってしまっているんですけど、先ほど話してくれていたように、文京区には数多くの大学があるので、各大学の交流を深めて、もっとイベントなどをやったほ

うが、せっかく大学がたくさんあるのでつながれたらいいなと思ったのと、私自身も文京区は住むまちというよりは、学校に行って帰る、というイメージなので、実際に住んでいる方々とお話しする機会があればいいなと思いました。

**【ファシリテーター】**

ありがとうございます。

みんな考えてくれまして、ありがとうございました。

それでは、私が何となく皆さんの発表からキーワードを書きとめましたけど、別にこれに流される必要はありません。この中から1つテーマを決めて、さらに掘り下げていきたいなというふうに思います。みんなの中でキーワードが多かったのは、やっぱり、「学生」。「大学を越えた交流」。あと、「物価」の話も前半、多かったですね、物価が高いよと。最初と後半かな、「子供」の話とかもありましたけれども、何かこんなのが興味あるな、というのは他にありますか。

**【参加者】**

「学生」は、話を聞いていて、皆さん共通するワードで、最後のほうで子供の教育の話をしてくれたと思うんですけども、そのことに「学生」のワードは入っていなかったんですが、優しい目線で子供とか女性のことを見ていたので、その視点で「学生」のことも考えられるのかなと思ったので、そういう部分でも「学生」というのはおもしろいかなと。

**【ファシリテーター】**

「学生」というのは、大学生？

**【参加者】**

ざっくり「学生」のほうが。

**【ファシリテーター】**

「学生」をキーワードに、何か話をできたらいいいなということですね。他の皆さんはどうでしょうか。自分のを推していただいてもけっこうです。

**【参加者】**

少子高齢化でやっぱり学生も減ってきている中で、これだけ19の大学があるというところは、東京の中でも魅力的なのかなと思います。そんな学生が、ただ通って勉強するだけじゃなくて、もっと自分たちが通っている場所に貢献できることってあると思うので、さっきも言ったように、学生が地域の方たちを動かしていくということは、区を盛り上げるためにも、やるべきことかなと思ったので、私も「学生」というキーワードはいいと思います。



【ファシリテーター】

今、「学生が地域を動かす」というね、いいですね。どうですか、「地域」とは、これは文京区のこの会ですので、「文京区」ですね。学生が動かす文京区。どんなことを動かすのか。あるいは、全然違う視点でもいいですよ。〇〇さん。

【参加者】

せっかく違う視点でもいいとおっしゃっていただいたんですけど、19個もの大学があるということで、学生間で交流して、そこから、同じ区の文京区のどこかで交流したりとか、いいんじゃないかと思います。

【ファシリテーター】

大学を越えた学生間交流をして、サークルみたいな活動？

【参加者】

ゼミのような、インカレのサークルのような。

【参加者】

地域を動かす、というと、すごいなって。

【ファシリテーター】

いいよ、ここは夢物語で。

【参加者】

学生同士だと、割と同年とかで、やりやすさはあるかなって思ったんですが、「地域を動かす」…。

【ファシリテーター】

スケールが大き過ぎる？

【参加者】

どうやって、学生が地域を動かす、というと…。

【ファシリテーター】

今、そういう流れになりそうだけど、〇〇さんにやれとはここでは言わないからね。みんなまで、提案として考えてみましょう。

【参加者】

自分ができることって何だろうなって思ったときに、「この地域を動かす」と言われて、学生が、私が地域を動かす、何かをするって考えたときに、何にも今、思い浮かばなくて…。

【区長】

小さなことでもあって、〇〇さんは□□駅の近くの大学の学生さんなんだけど、僕が毎年、授業をやっていて。その中のアイデアで、□□駅近辺ではカフェが最近増えているので、「その近辺のカフェで学生証を見せると割引になるといい」という提案がありました。それが実現して、その近くでマップをつくって、そのマップで学生証を出すと割引になりますというのが実現したことがあって。それも小さいけど、地域を動かしたわけね、学生が。そんなことがあるので、別にそんな、ものすごく動かさなくてもいいんです。

**【参加者】**

私の大学で、「Bーぐる」バスの車内映像を作成していて、その車内映像を撮影するときにお店に協力してもらうんですけど、お店にその後取材をして、その後どうですかと、売り上げとか人とかどうですかと聞いたんです。そうしたら、お客さんから「映像を見て来た」というようなことをすごく言われた、と、そういうふうな言葉をいただいたことがあって。すごくそれがうれしくて、それは地域を動かすってことにつながっているんじゃないかなと、商店街を潤すことができているんじゃないかなと思って。その点では、地域を動かす、だから、「Bーぐる」の活動も、私の大学だけじゃなくて、ほかの大学とも一緒にできればいいな、というふうになんて考えてたんです。

**【ファシリテーター】**

今のところ流れとして、これは話せそうな雰囲気になってはいますけれども、どうですか。

**【参加者】**

先ほどピロリンさんから話が出た、「マップをつくる」というお話が出て、そのお話は今初めて聞いたんですけど、私たちこの5人が同じ大学のゼミで文京区の研究をやってまして、それでちょうど、マップをつくろう、という話になっていました。

**【区長】**

できると思うよ。敷居が高いお店など、お高い町だと思われがちだから、文京区のもともと住んでいる人たちじゃなくて、新しい人たち、若い人たち、そういう人にしてみると、初めてのお店ってすごく入りにくいじゃない、学生もそうでしょう。さっきのBーぐるバスのPR動画じゃないけど、お店の中の様子をちょっとそのPR動画とか見ることができて、そこに居酒屋のおやじでもいて、扉があげられないのを、あげられるチャンスになるよね、マップもそうだけど。意外と行ってみると楽しいところだった、おいしいお店だったとか。そういった、敷居の高さを低くする取り組み。

**【ファシリテーター】**

「敷居を低くする」。

何となく、少しテーマが絞れそうな感じがしますね。「大学が19もあるから」というのがキーワードに何回も出ていますが、いろいろな大学の人たちが集まれるような、いろいろな大学の人たちが、敷居が低く入れるような場所だったり、みんなで情報共有することで、地域を動かせるんじゃないか。そのあたりを少し掘り下げてみる感じで大丈夫ですか。

言葉の文言は少し直しますが、じゃあ、皆さんぐらいの年代の人をターゲットで考えましょう。「学生の皆さんが大学越えての交流」のニュアンスも入れて。方法はマップに余りとらわれなくていいのではないのでしょうか。

**【参加者】**

留学生、なんかは、キーワードとしてどうでしょうか。

**【ファシリテーター】**

「留学生」、はい、わかりました。いいですね。

**【区長】**

今、日本の大学に通う外国人は、すごくふえているんですね。

**【ファシリテーター】**

なるほど、いいですね。大学も越える、国籍も越える、学生の皆さんが地域を動かすにはどんなことができるか、あるいはもっと、マップにこだわっていくか、それはもう皆さんの好きなように。

**【参加者】**

地域を動かす1つの案としてマップがあるという考え方もいいのかなと。

**【ファシリテーター】**

ちょっと詳しい案、というところですね。地域を動かすにはどんなことができるか、その中で、誰かはマップを書く、というので。ほかにもいろんな、マップ以外も、こんなものだったらできるんじゃないかとか、そのときに、区がやるというよりかは、自分たちでどんなことができるかなというふうに、考えていきたいですね。

この先のやり方ですけれども、大学でもしかしたらやっているかもしれませんけれども、いわゆるKJ法に近い形になります。1つのアイデアを1枚の付箋に、キーワードだけでいいので、自由にこんなふうを書いていってください。今ちょっと時計がないんですけれども、5分ぐらいこれから時間をとりますので、1人、マップ以外を含めて、アイデアをマジックで書いてください。じゃ、皆さん、お手元に付箋、ありますか。今、5枚行きましたけれど

も、もっと出る方は、もっとたくさん出してもかまいませんよ。

皆さん、飲み物を飲みながら。それでは、お願いします。

～～～個人ワーク（5分）～～～

【ファシリテーター】

5分ぐらいだったんですけど、どうですかね。3枚から5枚ぐらい、どうですか。出しながらまた、さらに浮かんだら、追加して書いていただいても構わないです。

さっきも話したけど、ここで決してまとめたりはしません。いろんなアイデアを出して、あっ、それもいいね、あれもいいね、そんな感じで広げていきます。誰かが出したものに対して、ちょっと否定的なことを言うのはやめましょうね。そんなのできないよとか。そうではなくて、どっちかというに乗っかって、それをやるためにはどうしたらいいか、なんていうところで意見を出していけたらなというふうに思います。

一番枚数が多い方は誰だろう。〇〇さん、1枚何か出してもらっていいですか。読み上げていただいて。

【参加者】

「レンタル自転車でめぐる文京区」。

【ファシリテーター】

あ、いいですね、レンタル自転車。貸し出しの自転車ありますね。何かもうちょっと、こんなイメージで書きました、というのがあったら。

【参加者】

文京区めぐりといっても、どこが有名なのかとか私はわからないので、東京ドームとかそういうのしか思い浮かばないので、住んでいる人だからわかるところを、知れたらいいなど。

【ファシリテーター】

また、自転車が区としてもちょうどいい感じですよ。

【参加者】

細い道とか。

【ファシリテーター】

ここ金魚坂とかね、自転車じゃないとなかなかですもんね。いいですね。どうですか、こういう、今のだと、ちょっと区の中をめぐりましょう、みたいな感じで書かれたのかなと思

いますけど、そんなふうなことを書いた方いますか。

**【参加者】**

同じのを書きました。

**【ファシリテーター】**

同じの。じゃ、〇〇さん、読み上げてください。

**【参加者】**

「レンタル自転車での体験を大学同士でできたら」。

**【ファシリテーター】**

大学同士、ちょっとそれは〇〇さん、少しニュアンスが違うね。

**【参加者】**

私の大学が特になんですけど、駅がすぐ近くて、余り区を回ることがないというので、学校で授業を受けたらそのまま帰っちゃうことが多いんです。それを、いろんな大学、区内の違う大学生の知ってるお店なんかを、大学ごとに、例えば今日はここの大学の方が仕切ってもらって、大学周辺を自転車で回ろう、みたいなことができれば、仲良くもなれるし、つながる、知ることもしめるのかなと。

**【区長】**

〇〇大学だと、辛うじて〇〇くらいまではわかってるけど、そこから行ったら、〇〇駅とかあっちのほうに行ったら全然わからないもんね。逆に、〇〇はわかっても、〇〇はわからない。

**【ファシリテーター】**

ちなみに、文京区だと、東大の中をみんなめぐりたいとかそういうのもあるんじゃないですか、緑が多いし。

**【参加者】**

スタバがあったり、あと学食が新しくなって。

**【ファシリテーター】**

いいですね。あとは、例えば、レンタル自転車置き場を大学に設置とかという可能性もありますよね。今、区の施設のところになってますけれども、それを大学生が使えるように。道具としてレンタル自転車、自転車をイメージして書かれているのかなと思いますけど、どうですか、何か区内をめぐることとしては。

**【参加者】**

自転車もいいんですけど、文京区ってすごい緑が、自然が豊かなイメージがあるので、歩いてそういうのを感じながら、スポット、ツアーを企画して歩けたらいいんじゃないですかね。

【ファシリテーター】

学生の皆さんで何軒かお店を回ったりとか、いいですね。自転車から今度、歩きになりましたけれども、ほかの手段でもいいんですけど、まちの中を歩く、めぐると、っていうような案は、他にありますか。

【参加者】

「学食めぐり」。

【ファシリテーター】

いいですね。では先に〇〇さんから、「学食めぐり」。ほかの大学の。

【参加者】

学生がほかの学校の学食に行くのもいいんですけど、私の母が大学に行かなかったので、キャンパスで学食を食べてみたら学生気分を味わえたってすごく喜んでいたので、大学生を経験してないお母さんとかの年代の方が学食めぐりするのもいいのかなって思っ

【ファシリテーター】

学食を地域に開放して、地元の人、来ていいよという、いいですね。

あと、「学食をオープンにしています」という情報があったらいいですね。

〇〇さんの出してくれたのはどんな感じですか、同じ感じですか。

【参加者】

同じ感じですね。東京大学の学食が食べたくて、ちょっとのぞいたんですけど、やっぱりなんか入りづらいし…、通ってる学生さん優先じゃないですか、やっぱり、お昼時は。なんか注意書きとかもあったりして、結局食べないで帰っちゃったりして。それがもうちょっとオープンになれば、お互い行き来できて楽しいかなって。

【ファシリテーター】

「めぐり」方法。学食をキーワードに、ほかどうですか、めぐり感じはそれぐらい？

【参加者】

今、話聞いてて、いいなと思ったんですけど、美化活動というのを挙げてて、まちの歩きツアーというので、歩きながらポイ捨てを掃除して、めぐりながらきれいにしていくというのがいいかなって思っ

【ファシリテーター】

いいですね。歩きながら、少し目的を持たせて、単に歩くのもいいけど、さらに、ということですね。

【参加者】

おもしろいかなと思って。

【ファシリテーター】

〇〇さん、何かご経験とかは。

【参加者】

経験というより、結構、東京自体が歩きたばこや、たばこが全面禁煙になったので、うちの大学でも全面禁煙になって、そうしたら逆に今度、吸ってる人が多くなってるような感じがして。吸うところがなくなっていくので、路上で吸う方が増えたのかなと。

【ファシリテーター】

建物の中で吸えないからね。

【参加者】

そうですね、せっかくきれいなまちなので、そのきれいなところは維持した方がいいかな、と思って。

【ファシリテーター】

なるほど、回りながら付加価値をつけた企画、いいですね。面白いですね。

どうですか、めぐりながら何か付加価値、そういう面で書いた方とかいますか。

一旦この辺でひとかたまりにして、少し話を変える感じにしますか。〇〇さん、いかがでしょう。

【参加者】

「カーレット」って皆さん、知っている人いますか。カーレットって卓上でするカーリングみたいなやつで、文京区発祥の競技があるんですけど…

【ファシリテーター】

文京区発祥？

【参加者】

そうなんです、文京区発祥のスポーツなんですけど。

【ファシリテーター】

テーブルの上でやるけど、スポーツなんですね。

**【参加者】**

そうなんです。体が不自由な方でもできるというもので、それ初めて知ったときに、すごいな、と思ったんです。見ればわかるんですけど、本当にカーリングみたいな感じで、でも机の上でやるもので。もう今何団体かチームがあるんですよね。

**【ファシリテーター】**

学生の？

**【参加者】**

いや、社会人の。学生でやってる方ってあんまり聞いたことがなくて、文京区の大学の学生がこれを広めたら、オリンピック競技になれるかな、なんて。そうなったらおもしろいなと思って。

**【ファシリテーター】**

スポーツ関連、と書いちゃっていいですか？ちょっとカーレットが分からないかもしれないので。

**【参加者】**

そうですね。

**【ファシリテーター】**

しかも文京区の発祥のスポーツだし。

**【参加者】**

はい、学生もできればなと思って。

**【ファシリテーター】**

どうですか、今、スポーツ、軸になる何かをつくって、それをみんなできわめるとか、学ぶとか、広めるとか、そんな感じでキーワードが出てますけれども、こういった方向性で他に何かありますか。

**【区長】**

それを来年、逃す手はないですね。何かスポーツ関係、オリ・パラ、19大学対抗大運動会でもいいけど。

**【参加者】**

おもしろい！大学対抗。

**【参加者】**

おもしろいですね。



**【参加者】**

それをいろんな種目でやるのが難しければ、誰でもできそうなカーレットでやったりとか。

**【ファシリテーター】**

大学対抗スポーツ大会。今、スポーツがキーワードになってますけれども、何かここら辺も似ているような気がするんですよね、スポーツじゃなくても。どうですか、出してもらっていいですか。

**【参加者】**

大学を越えた文京区のボランティアサークルという、さっきインカレサークルという話がちょっと聞こえてきたんですけど、文京区の中のボランティアインカレサークルをつくったら、大学を越えて、いろんな力というか、何か加わっていろいろできそうだなって思ったんですよ。だから、さっき言ったみたいに「B-ぐる」も大学を越えてやりたいなとずっと思っていたので、大学を越えて何かできればなど。

**【ファシリテーター】**

どうですか、「大学を越えて」何か、サークルだったりグループだったりというのが出てますけれども、大学を越えて学生で何かする…。

**【参加者】**

東京オリンピックでドイツ関連の何かを。

**【ファシリテーター】**

ドイツのホストタウン。

**【区長】**

文京区がドイツのホストタウンで、姉妹都市がドイツの都市なので、ドイツを応援するホストタウンです。

**【参加者】**

今お話があったように、文京区はドイツの選手村になることになっていまして、2018年にオリンピックに先駆けて、ドイツのスポーツだったり、ドイツはビールが有名なのでビールのお店とかに来ていただいて、子供たちや地域の人たちがやってるイベントが開催されたんです。これは拓殖大学のボランティア以外にも、順天堂大学の学生の皆さんとも一緒にボランティアできたので、大学の枠を越えてという意味では、そういう、オリンピックを生かすのもいいかなと。

**【ファシリテーター】**

面白いね。ドイツ。

【区長】

今年の12月にクリスマスマーケットイン文京区、区役所の前の礫川公園で、地下鉄の丸ノ内線出口でね、あそこでキッチンカーとかを持ってきて、ソーセージ食べたりしながら、冬なので、さすがにビールじゃなくてホットワインを飲みながら、イベントやろうという企画が。

【ファシリテーター】

そこに、例えば大学が、大学を越えてブースを出すとか。

【区長】

大学生がブースを出すということも十分。

【ファシリテーター】

可能性はある。

【区長】

今、世界柔道を武道館でやっていて、今日もここに来る前にドイツの選手、すごい格好いい、78キロ超級の大きな女子柔道の人たちとも会って、こういう人たちもちょうど日本にいるかもしれないから、交流できたりするといいよね。

【参加者】

きのうまでドイツに行ってたんですけど。

【区長】

嘉納先生に会ってきた？

【参加者】

会いました。日本語をしゃべれるドイツ人の人とかも仲よくなれたので、そういう人を招いて一緒にできたら、またおもしろいかなと。

【ファシリテーター】

おもしろいですね。そういうところにこういう縁でまた、ほかの大学の学生さんとかも手伝ってくれたり、おもしろいかもしれないです。

ちょっとドイツがキーワードになってしまいましたが、ドイツでなくてもいいですけども、何かありますか。

【参加者】

私のゼミではないんですけど、ほかのゼミの研究から始まったフィールドワークで、〇〇

というチームがフィールドワーク名になって、そこのチームが今、車椅子の方々とやるという「ボッチャ」というのをイベントでやっているというのを聞いたので、そのチームとかだったら、そういう先駆けにしてくれるのかなと思って、書きました。

【ファシリテーター】

「ボッチャ」って、これもスポーツの種目の一つですけども。

【参加者】

次の新しい種目にその「カーレット」とかがなれば、おもしろいかなと思って。

【ファシリテーター】

どうですか、こういう何か「グループ」について。この辺はこんな感じですか。少しこれに紐づけできる何か、〇〇さん、何か出せますか。

【参加者】

肉フェス。

若い人が来そうなフェスとかをやるといいかなって。

【ファシリテーター】

いいですね、先ほどのにもつながりますよね。

【区長】

焼くか、肉を礪川公園で。

【ファシリテーター】

焼けるかわからないけれども、ぜひ、いいですよ。肉フェスが浮かんだ、その発想のものは何なんですか。

【参加者】

肉フェスとか、あとアイス万博みたいなのがあったときに、「アイパク」って言って、なんかあったんですけど、名前聞いただけでも、ここ行ってみたい、っていうインパクトが大事かなと。「期間限定」に私、弱いんですけど、「期間限定」とか、「限定」というと、行かなきゃみたいな使命感じゃないんですけど、買わなきゃとか思ったりするんで、そういうのがあったらいいのかなって。

【ファシリテーター】

いいですね、イベントとかもそうですもんね。若い人が来るのに、「期間限定」と「肉」と「フェス」。

「インパクト」のある、若い人が来そうな、イベント系、ありますか。

〇〇さんの「文京区食祭り」、どんなイメージですか。

【参加者】

教育の森、私が通ってる〇〇大学の近くにある広場なんですけれども、そこを使って「食祭り」をやろうと考えまして、先ほどお話であったように、敷居が高いお店とかが多いため話があったので、そういうお店に屋台として出してもらおうかなというので考えていまして。

【ファシリテーター】

金魚も出せばいいですね。

【参加者】

そうですね。

【ファシリテーター】

これは実際にもう、実施されるんですか、それとも、まだ〇〇さんの中で温めているんでしょうか。

【参加者】

自分の中のアイデアです。

【ファシリテーター】

そういったことをやれたらいいなと。そのときに、ちょっと敷居が高いところにぜひ、と、学生の皆さんが地域の店を回って声をかけていくようなイメージですね。

どうですか、この辺のところから、マップとかそろそろ出てくるかと思うんですけど。

「マップ」、こういうふうな流れで何か出してくれる、協力してくれる、マップがあってもいいような気がするんですけど、この辺から何か皆さん、つながりませんか。どうですか。ちょっと強引過ぎますか？

〇〇さん、何かこの辺あたりしませんか。イベントつながり的な。「子供食堂」。〇〇さんが考える「子供食堂」、イメージを少し教えてください。

【参加者】

また「B-ぐる」の話なんですけど、前に子供食堂を取り上げたときに、ちょっとだけ炎上したんです、「B-ぐる」が。やっぱり世間って子供食堂っていうイメージがちょっと、「貧困」っていうものにつながってきている風潮にあって。今回また違う子供食堂を取り上げたんですけど、そこは、「みんなで食べればおいしいよ」というのをモットーにやっていると。それは子供だけじゃなくて、地域の人たちに向けても。

【区長】

多世代交流。

【参加者】

多世代交流、そうです、外国人の人も来ている、なんかそれがすごくいいなと思ったので、それも何か、そのイメージを壊すべく、何かできたらいいなというふうに。

【ファシリテーター】

今、名前は子供食堂だけど、子供だけじゃなくて、留学生や学生のみみんなも、みんな集まれる、そんな食堂。

【参加者】

たしかおもてなし食堂っていう名前でした。

【ファシリテーター】

〇〇さんも「子供食堂」を書いてくれていますね。

【参加者】

さっき食の話聞いていて思いついて書いたんですけど、ちょうどこの間の24時間テレビで「子供食堂」が取り上げられていて。それもさっきおっしゃっていたように、貧困というイメージで、あんまり、行くのに抵抗があるっていう親の方とかもいるらしいんですけど、その24時間テレビでやってたのは、子供はただだし、親は300円で食べられるという食堂らしくて、文京区とかも共働きの家庭も結構多いので、そういうところを活用しながら、家であるものを食べる子供たちじゃなくて、みんなでしゃべりながら食べるっていうことができる場所を、もっといいものなんだというイメージ改革とかを、例えば学生がここでアルバイトとかしながら広めていけるっていうのはいいことなのかなと思って、書きました。

【ファシリテーター】

学生の皆さんが運営をする。いいですね。

地域じゃなくて日本とかも動かしそうじゃないですか。貧困、そういうイメージを壊すっていう。

【ファシリテーター】

子供食堂の貧困というイメージを変える。いいですね。ありがとうございます。

〇〇さんから1枚出しませんか。

【参加者】

マップの話になるんですけど。

【ファシリテーター】

いいですよ、来た来た。

【参加者】

私たちもいろんな観光スポットとか、ご飯屋さんとか、最近アポをとって、マップを。

【ファシリテーター】

1枚もらいながら、いいですか。

【参加者】

はい。一応、店同士連携してお互いをPRって書いてありますけど、お店とか観光スポットでも、マップをつくって、それを、学生向けなので紙で配るより、QRコードをスマホで読み取って、画面上でマップを表示して、クリックしたら詳細が見られるみたいな感じのマップをつくらうと考えていて。そのQRコードをお店に張ってもらう協力をお願いしていて。例えば、私が行ったのが、護国寺で、護国寺に行ったら、その中にQRコードがあって、それを読み込んでもらって、付近の店とかが表示されて。

【ファシリテーター】

寄り道して帰って。

【参加者】

「次どこ行こう？」とか、そういう気分にもなると思うので。

【ファシリテーター】

「お互いにPR」のところを、何かもうちょっと。お互いにPRってどんな感じの？

【参加者】

周辺の。

【ファシリテーター】

周辺情報が出てくるから。例えば、レストランに行ったら、食後のコーヒーが飲めるところとか、その後ちょっと寄れるとか、そういう感じのものがQRコードで読める。

【参加者】

そうですね。

【ファシリテーター】

その辺は今までにないマップの使い方かもしれないですね。この世代と一緒にして申し訳ないけど、この世代は紙で広げたくなくなってしまう世代だから、やはり皆さんは学生だから、QRコード、スマホで、と。

何か、どうですか、今こういうような話が聞けると、多分、同じゼミの方とか何か、わか

らないけど、補足とか追加とかあれば。

**【参加者】**

今までお店を回ってきて、思ったことなんですけど、文京区の方ってみんな温かいっていうのを感じて。別のゼミの先生がおっしゃってたんですけど、そのゼミの先生も似たような活動を別のところでやっていたらしくて、□□とかを回ってやったらしいんですけど、そのときはあんまり協力してくれる人たちが少なかったっていうのを聞いたんです。でも、私たちがこの文京区で回ったところは、基本的に全部オーケーしてもらえたので、もっとPR、こういうこともしてくださいと教えてくれるお店もあったりとかして、すごく私たちに協力的だなと思ったことから、温かい町だなと思ったので。

**【ファシリテーター】**

お店同士の連携とかにもつながりますよね、まさに。

**【参加者】**

学生が「こういうのをやりたい」と思ったら、多分快く受け入れてくれるお店、たくさんあるんじゃないかなと。

**【ファシリテーター】**

実際やってみての感想。こういう可能性が、だから、あるということね。学生の皆さんのね。

どうですか、ほか何か、幾つか見えてるので、無理くりでもつなげていただいて。発信とかどうですか。

**【参加者】**

SNSでの魅力発信なんですけど、今、ツイッターよりインスタだと思うので、写真撮って、それを大学生が中心で運営者となって紹介していけばいいのかなって。

**【ファシリテーター】**

全てに対して言えますよね、情報発信をするときに、インスタなどのSNSをもっと活用して。

**【参加者】**

文字だけじゃなくて、写真があったらイメージがわかりやすいと思うので。

**【ファシリテーター】**

文京区ではあるんですか、公式インスタ。

**【区長】**

インスタはやっていないよね。

**【広報課長】**

ないです、はい。

**【ファシリテーター】**

これで、例えば大学の学食をインスタでアップするとか、カーレットとか、何かそんなのも含めて、インスタをもっと使うと、学生が動き出すことがあるかもしれないですね。文京区の広報として。

今、情報発信の方法、動画もありますね。〇〇さんのイメージをもっと教えてもらえますか。

**【参加者】**

例えばなんですけど、こういうお店に許可を取って、全部学生でつくろうっていう。お店の紹介をして、お料理とかお茶とか、お店のPRの動画を撮って公開したりとか。あとはSNS。今の時代、やっぱりSNSだと思うので、30秒とか1分とか、短い動画をまとめて、そのお店の魅力が伝われば、敷居が低くなるかなと。

**【ファシリテーター】**

入りやすくなる。それでイメージがつけばね。

**【参加者】**

と、思います。

**【ファシリテーター】**

さっきのQRコードとかにもつながるかもしれないし。

**【参加者】**

そうですね。

**【ファシリテーター】**

「おもてなし食堂」のちょっとした動画があったり、まち歩きツアーを、動画撮影をしてもらったり。

〇〇さん、どうですか、実際は大変なんだ、とか。

**【参加者】**

大変っちゃ大変ですけど、でも、動画つくった、できたのを見たときの達成感はすごくあるので。

**【ファシリテーター】**



お店側もうれしいですよ。

**【参加者】**

お店側も本当にうれしいと思います。さっきもあったと思うんですけど、協力的にやってくれるところが多いので。

「Bーぐる」の活動については、文京区内の学生の活動にしようということで、私たちがずっと言ってることなんですけど。

**【ファシリテーター】**

「Bーぐる」の活動というのは、「Bーぐる」の車内動画ですよ。

**【参加者】**

そうですね、「Bーぐる」の動画の活動を、文京区全体の学生の活動にしたらいんじゃないかなと。やっぱりそれです、それに尽きます。

**【ファシリテーター】**

いろんな大学のそういう、サークルなのかグループなのかはちょっとわからないけど、場合によってはアルバイトかもしれないけど。

**【参加者】**

ボランティアでやってますね。

**【ファシリテーター】**

ほかの大学の方が来てくれたら、もっと広がりそうな感じがする？〇〇さんからして。

**【参加者】**

そうですね、もっと可能性が広がるんじゃないかなって。

**【区長】**

今は何人ぐらいで？

**【参加者】**

今は7人ぐらいで、結構少ないんですよ。

**【ファシリテーター】**

例えば、ここの中で今、私が協力してもいいと手を挙げたら、できるものなんですか。

**【参加者】**

大学に来てもらう必要はあるんですが。会議があるので。

**【ファシリテーター】**

そういうふうな、少し条件があるけれども。

【参加者】

でも、ぜひ。

【ファシリテーター】

何々大じゃなきゃだめとか、そんなのは全然ないんですね。

【参加者】

はい。今、物語形式の動画を撮ってるんですけど、男性役が必要なんですよ。男性が欲しいねという。

【ファシリテーター】

後ほど、ぜひオファーしてみてください。

動画の話なんですけど、どうですか。〇〇さん、何か1枚ありませんか。無理くりでもいいです、全然話変わってもいいです。

【参加者】

私はなんか、ざっくりとしたことしか。

【ファシリテーター】

ざっくり、何かもらいましょうか、1枚。どんな感じでしょうか。

「学生同士の交流」。交流ネタから行きましょうか。学生同士の交流、どんなイメージですか。

【参加者】

先ほどから出てる感じが具体例になってくるんですけど、住んでる人は学生のことをどう思っているかな、こうやって学生が盛り上げていくの、いいですねと言ってくれるじゃないですか。実際に普通に生活している人はどう思っているのかなと。

【ファシリテーター】

ああ、なるほど。じゃ、逆に言うと〇〇さんは、自分が学生の立場として、住んでいる方からどう見られているかが気になる、という感じですね。こういうような活動が幾つかあると、もしかすると住んでいる方の思いについて知れるかもしれないし、こちらのことも知ってもらえるかもしれないし。じゃ、その具体例、その辺に絡む気がするんですけど、〇〇さんのそれは、世代間交流？

【参加者】

うちの大学で、上級生のゼミのグループで、〇〇市のキャンパスがあるので、そちらのほうの団体と協力して、交流活動をしています。

【ファシリテーター】

住んでいる方との交流の場を、何かその大学に絡めている、ということ？

【参加者】

高齢者の団体の方と、チームの名前をつけて。

【ファシリテーター】

チームの名前をつけて。どんな？

【参加者】

□□というチームの名前をつけて、交流活動というのを広めようとして。

【ファシリテーター】

それは今、□□県の□□市にキャンパスがあるから、そっちでやっている、ということ？

【参加者】

都内の□□のほうでもやっています。

【ファシリテーター】

なるほど。今、〇〇さんが出してくれたけど、〇〇さんも同じようなものかな。

【参加者】

同じようなやつです。

【ファシリテーター】

ピロリンが出した、「高齢者の交流」もかな。

【参加者】

同じ意味ですね。地域の人、高齢者の人との交流。

【参加者】

「地域住民」と書いちゃったんですけど、私も、高齢者の方との交流についても、いいと思います。

【ファシリテーター】

この辺は、地域の世代間交流が出ていましたけれども、ほかにありますか。〇〇さんも大体同じようなイメージですか。

【参加者】

そうですね。

【ファシリテーター】

あと、札が残っている方は。〇〇さんも1枚、〇〇さんも1枚、〇〇さん、先にもらえま

すか。

【参加者】

「ショッピングモールの拡大」。拡大というか、文京区といたらなんか私、ラクーアしか浮かばなくて。

【ファシリテーター】

拡大する以前に、それしかない、と。

【参加者】

つくるというのは難しいなと思って、書けなかったんですけど、例えば私、新宿だったらルミネに行くだけのために行くんですよ。お子さんがいらっしゃる方だったら、ショッピングモールと一緒に散歩行ったりとか、そういうのできるの、住み続けたいまちになるんじゃないかなという。

【ファシリテーター】

確かにね、そのときに、「学生さんが」となると、何かショッピングモールでこんなことできるよ、とか、どうですか。

【参加者】

ショッピングモールの中で広場みたいながあると、そこで何かできるかな。

【ファシリテーター】

さっきの公園の屋台につながる話かもしれませんね。

【参加者】

さっき〇〇さんが言ってたんですけど、学生街をつくれたらいいなと思って。ショッピングモールという以前に、なんかもう生活用品を買うところも私の近所、少ないんですよ。

【ファシリテーター】

文京区内で。

【参加者】

はい、薬局とかもないし、そういうのがあったらもっと、学生街というか、学生が住める環境ができるんじゃないかなと思いました。

【ファシリテーター】

ありがとうございます。

「まち歩きツアー」、ぜひみんなの「デートモデルコース」、歩いてみたいと思いました。あとは、高齢者の方へ、みんながパソコン教室とかを開いてくれると、世代間交流につなが

るな、なんていうことを思いました。あとは、学食がつながるんだけど、大学の中の高齢者見学。高齢者というか地域住民の方を、学食に限らないけど、大学の中に招いて、ツアーみたいなのがあってもいいのかなと思ったし、学生寮公開、学生寮があるのかそもそもちょっとわからないけれども、公開すると、留学生の皆さんなんかにとっても「住みたい」ということにつながるかな。

どうですか、みんなとりあえず出しましたか。言い残したこととかありますか。

じゃ、そろそろ、ざっくりまとめました「学生間交流」。「学生の皆さんが地域を動かす」、細かなまとめはしませんけれども、みんながここで、今やっていることとかできることがあったら、お互いつながっていただいて、ぜひ交流していただければと思います。

「ダイアログカフェ」としては、ここまでにしたいと思います。どうもありがとうございました。（拍手）

#### 【広報課長】

皆さん、お疲れさまでした。それでは、ピロリン、区長から一言。

#### 【区長】

ありがとうございました。楽しいディスカッションができたというふうに思います。いろんなアイデアをいただいて、私ども、参考にしたいと思うし、皆さんたちのゼミの活動の中で困ったことがあって、うちの広報課にでも連絡をいただければ、ちょっと押しただけで開ける窓もあるかもしれないので、逆に、こんなのどうですかというのがあったら、声かけてもらいたいなというふうに思います。今日はありがとうございました。楽しかったです。

#### 【広報課長】

ありがとうございました。

それでは、これもちまして本日の「ダイアログカフェ」、終了させていただきます。

最後、ちょっと事務連絡ですけれども、アンケート、最初に配付してあるかと思いますが、そちらに感想等を記入していただいて、お帰りの際に職員の方にお渡しいただければと思います。